

買って応援！
市民活動団体による販売とワークショップ

つながるマルシェ 2022 3/12日
10:00～15:00

<会場> グランツリー武蔵小杉ピロティ
(東横線側出入口横)

パワーアップセミナー (社福)川崎市社会福祉協議会共催
「対立から対話へすすめる組織のカタチ」
3/5 9時半～12時 **オンライン開催**

講師 モジョコンサルティング合同会社
代表 長浜 洋二 さん

市民活動を応援しよう！
おうちで眠っているモノで

ご自宅にある読み終わった本や、必要のなくなったお品物がブックオフオンラインで買い取られ、買取金額の金額がセンターへ寄付として送金されます。詳細はセンターHP。

キモ子と。

こぶんた・わくりんが行く！ 「こども文化センター」は、市民活動の地域拠点

小中学生だけでなく乳幼児から高齢者まで、多世代が交流する施設「こども文化センター」。子どもたちの利用が少ない午前中から放課後までと夜間の時間帯は、児童福祉関係者や地域のみなさんの活動拠点としても利用されています。団体登録して各部屋や印刷機などの設備が利用できます(予約制)。各区のこども文化センターの運営について詳しくは、財団ホームページ(QR)をご確認ください。地域の方々との交流を通して、子どもたちの健やかな成長を図ります。

藤崎こども文化センター(川崎区)

※こぶんたは、当財団が管理運営するこども文化センター53施設のキャラクターです。
※わくりんは、当財団が管理運営するわくわくプラザ102施設のキャラクターです。

ナンバーゼロ 2022年冬号(通巻No.300)
【編集・発行】
公益財団法人かわさき市民活動センター 市民活動推進課
〒211-0004 川崎市中原区新丸子東3-1100-12
電話:044-430-5566 FAX:044-430-5577
メール:suisin@kawasaki-shiminkatsudo.or.jp
WEB:http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/

開催報告 ともにカフェ

「企業×市民活動団体のコラボ(連携・協働)」



2021.12.5 開催の様子

プレゼンテーションとフリータイムを通して活発な時間を過ごしました！
今後の協働への「きっかけ」になるよう、期待が高まります。企業3社×市民活動7団体が参加しました。



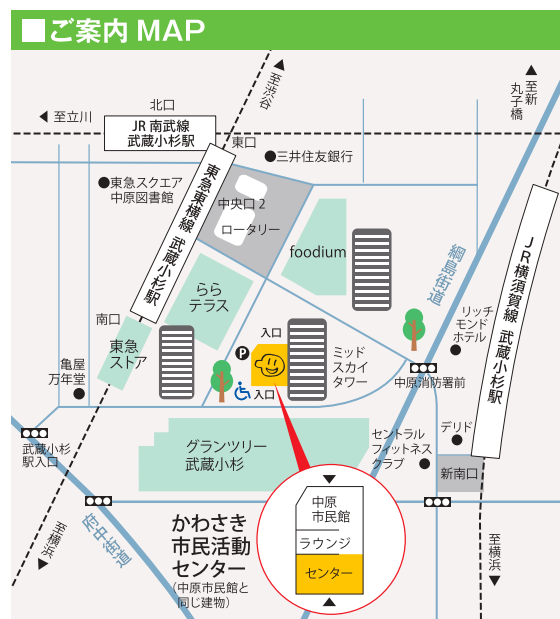
企業3社がプレゼンテーションと交流に参加！

50歳以下の若手エースの活動をインタビュー形式で紹介。



U-50
(アンダー50)

センターHPで
連載中!



Facebookでも情報を発信しています。
<https://www.facebook.com/kcac.suisin/>

ポータルサイト「応援ナビかわさき」
<http://kawasaki.genki365.net/>

2022年
冬号(通巻No.300)

ナンバーゼロ



(右)代表・山崎さん
(左)杉山さん



P3 団体紹介 ブース利用
女性の健康課題に取り組む
「ウィメンズ ボディ ラボ」
専門家としての経験と知識を、地域女性へ共有中！
今後の活躍が益々楽しみです。

目次

- P2 広がる！シェアスペース
- P3 連載コラム「川崎の企業市民活動」
- P4 お知らせ
「ともにカフェ」開催報告

特集 | 使ってみよう！ 広がる！シェアスペース

スタジオカリヨン

澁谷農園・母家

となりの。

セルディア館

「活動の幅」と「つながり」が広がる！
川崎市内の一味違う個性派スペースを紹介。



詳細はホームページ <https://studiocarillon.com/>
高津区末長1丁目15-19 コテージ梶ヶ谷1F

自分の「好き」を実現する場所 スタジオカリヨン

子どもたちの表現する力を培う「音の教室カリヨン」を運営する平松あずさんが、2020年6月に開いたシェアスペース。主室はテラス付きで明るく、北海道産「道南杉」で板張りした壁と床は温かな肌触りだ。可動テーブルなのでアイデア次第で活用の幅が広がる。そして、何と言っても注目は「菓子製造許可付き」キッチン。このキッチンでは「販売できるお菓子」を作ることが出来るのだ。「好きなお菓子作りを（家庭の味）から一歩進めて、起業の夢を実現する。そんな場所をつくりたい！」との平松さんの熱い思いから生まれた。甘く美味しそうな香りが漂うキッチンには、遠方から訪れる利用者も多い。

平松あずさん



詳細はホームページ <http://omoya-farm.blogspot.com/>
高津区末長1丁目18-1

これからの100年につながる場所 澁谷農園・母家

『母家（おもや）』は、推定築100年の古民家を再生。澁谷農園の歴史を刻む木造建築を保存するとともに、「これからの100年を見守る、みんなが成長できる場所に」との思いを大切にしている場所だ。繋げると30畳の広々とした「畳の間」は、「ヨガ」「そろばん」「生け花」などの学びの場に選ばれている。赤ちゃん連れの教室にも好評だ。レトロモダンな「お手手」は、食や農の活動にぴったり。澁谷農園の地元野菜も食材に使える。玄関を兼ねた「土間」は椅子とテーブルが置かれた共有スペース。各室はイベントや定期教室以外の時間帯に貸し出している。活動と使用内容の事前審査あり。

澁谷直子さん



詳細は<https://www.tonarino-motosumi.jp/>
中原区西加瀬5-1 フロール元住吉1F

つながりが生まれる場所 となりの。

地域の人々が緩やかにつながる場所として2020年3月に開業したコミュニティスペース／カフェ。「カフェ」「レンタルルーム（個室）」とも貸出あり。バリスタが淹れるコーヒーを楽しみながら、飲食代金+110円（*席料）でゆっくりPC作業や手仕事ができる。店内全体の様子が見える間取りで、カフェ客の興味や関心を個室で開催する講座や教室へ向けることが期待できる。カフェスタッフの一人はソーシャルワーカー。医療・福祉のお悩みを気軽に話せる。小学生の宿題見守り「放課後サポート」、赤ちゃん交流会、月1回のマーケットを行っている。雑貨などの展示販売ができる「レンタルボックス」も貸出している。（*席料は2時間の場合）



歌える、踊れる、 奏でられる場所 セルディア館

ダンスや舞台など文化・芸術系の活動では、しっかり設備が行き届いた場所が必要。セレモニーホールでもあるセルディア館の「1F多目的ホール」には、こだわりの音響設備と動画機材が揃う。有線LANを設置し、動画撮影とライブ配信に注力している。壁一面が鏡張り舞踊系のレッスンや教室などに活用できる。60インチ大型モニター・カラオケシステム完備。40席の椅子が置ける広さで、落語公演やミニコンサートなどが開催可能。様々な“音を出す”活動に適した場所だ。「2Fスペース」は会議室。ほか、床の間付きの和室もある。いずれも貸出対応。ケータリングなどの手配も行う。



詳細はホームページ <https://www.sougi-kazokusou.jp/>
高津区北見方1丁目10-26

Women's Body Labo

ウィメンズ ボディ ラボ（2014年設立）

<https://www.womensbodylabo.com/>

ブース利用団体

団体
紹介
STORY

センターの「市民活動ブース」入居団体を、今後、紹介していきます



理 学療法士や保健師など、国家資格を持つ専門家グループ「Women's Body Labo」。現場経験による豊富な知識と視点を活用し、地域女性の健康づくりへの啓発と支援を行う。多くの女性は妊娠・出産経験で体が変化し、「病」ではなくても「不調」を長期的に抱えて悩むこともある。代表の山崎愛美さんは、医療現場では解決が難しい女性の健康課題があることに気づき、医療職*が歩み寄り形で解決したいと地域に飛び出して活動を開始した。同団体は「さんごのからだプロジェクト」としても活動中で、産後ママの体力維持や健康ケアを支援。多方面から協働の依頼が増え、産前産後女性の健康課題と活動への理解が広がっていることを、日々実感しているという。専門家向けの講座や勉強会も多数開催。女性特有の健康や生き方に関連するテクノロジーや取組は、近年ぐっと認知度が高まりつつある。今後は法人化に向けて、より活動内容の充実を図っていく。

『産後ママの体力測定』

大人になると体力測定の機会は少ないですね。「あれ、高校生の時はできたのに…」なんてことも。保育見守りスタッフがいるので、赤ちゃんが一緒でも安心。和やかムードで自分の体力を確認できます。日常での改善アドバイスも貰えるので、今日から早速実践〜!!



*医療職：医師、歯科医師、看護師、薬剤師、理学療法士、保健師、助産師など

連載コラム「川崎の企業市民活動」

コラム担当：福森



Corporate Social Responsibility in KAWASAKI
企業×社会貢献活動

第4回 「コストコホールセールジャパン株式会社川崎倉庫店」

「コストコでは企業文化の一環として率先して地域貢献活動に継続的に参加する、というものがある。これはコストコの創業者が重要視する共存共栄の精神の表れであり、我々従業員も日々の社会貢献活動を通じて成長できる」とコストコホールセールジャパン株式会社川崎倉庫店の春原裕満倉庫店長は語る。

コストコホールセールジャパン株式会社（本社：川崎区池上新町）は、「従業員が住み、働いている地域・近隣地域社会に貢献する」を社会貢献の基本方針として、とくに子どもと教育にかかわる社会サービスに焦点をあて、一過性ではなく継続的な支援を行い、支援の効果を高めている。全国の倉庫店がある地域で、児童養護施設や乳児院、療育センター、病院などさまざまな施設に加え、フードバンクや民間シェルターなど市民活動団体に対して、物品提供や寄付金での支援などを行う。寄付先の団体とは直接的な接点はないが、「寄付先のお子さんたちから、御礼状やメッセージカードをいただくことで繋がりを感じ、我々も貢献活動そのものを一層有意義に

とらえることができている」とのこと。これまでの実績の中で、川崎市内での支援件数は全国で2番目の件数に上り（全体の約9%、2020年度まで）、おもに食料品や日用品の提供を行っている。

春原さんは、「国境を越えて、貧困や虐待、またさまざまな理由で父母と暮らせない子どもたちを養育・看護している施設に対して、少しでも地域の一員としてお力添えができれば、という思いで、今後も寄付活動を続けていく」と今後の抱負を語った。



新型コロナの影響で帰国できない外国人を支援する団体に食材などを寄付

市民活動ブース 利用団体募集〈1室〉

応募受付期間

2/1(火)～2/21(月)
17:00まで

市民活動団体の「事務所」として使えます。4月入居団体（1室）を募集!月額13,000円。最長5年間利用（1年更新）。申請書類の提出後に選考あり。詳細と申込書はホームページ。

問合せは
044-430-5566
（施設担当）まで。



ロッカー・レターケース
毎年申し込みが必要です、
お忘れなく!
提出期間:
2/7(月)～3/6(日)